

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り18号卒業生特別号
平成31年3月22日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

ご卒業おめでとうございます ～夢に向かって努力すると、生きる力がわいてくる

子どもの頃の夢を一生かけて達成した人の一人に、シュリーマンという人がいます。シュリーマンは、ドイツの貧しい家に生まれました。そして7歳の時に、お父さんから「トロイ城の物語」を聞きました。「トロイ城の物語」とは、次のような話です。3000年も前のこと、ギリシアの軍が、トロイのお城を攻撃していました。ある日ギリシア軍は、負けたふりをして、巨大な木馬をトロイ城の近くに置き去りにして引き上げました。戦いに勝ったと思ったトロイ人は木馬を城の中に引き入れました。すると夜中に、巨大な木馬の中に隠れていたギリシア軍がぞろぞろ出てきて、トロイ城に火をつけたのです。トロイ城は、一夜でギリシア軍に攻め落とされてしまいました。

この話を聞いたシュリーマンはトロイ城を見てみたいと思いました。しかし、当時、トロイ城は、どこにあるのか全く分かっていなかったのです。それでもシュリーマンは、この時、トロイ城を見てみたい、トロイ城を発掘したいという夢を持ちました。

その後、シュリーマンは9才の頃に母親を亡くしたり、父親が仕事に失敗して貧しかったため14才で学校をやめて夜遅くまで働いたり、そのために体をこわして仕事が思うようにできなくなったり、やっと、船の乗組員の仕事を見つけたのに、今度は嵐にあって船が沈没してしまったりと、次から次へと辛く苦しいことにあってしまいます。シュリーマンは、不幸のどん底でくじけそうにもなりました。

そんなシュリーマンに、生きる力を与え続けたのは「トロイ城を見てみたい、トロイ城を発掘したい」という夢だったのです。シュリーマンは学校を中退していたので、勉強は苦手でしたが、「トロイ城を発掘したい」という夢に向かって、努力に努力を重ねて勉強しました。どんなことがあっても、あきらめませんでした。努力を重ねるうちにシュリーマンは、英語、フランス語、ロシア語など6カ国語も話せるようになり、いろんな国の人と商売をして、億万長者になりました。そして40才を過ぎた頃、商売をやめてトロイ城の発掘にとりかかり、ついに、49才の時、本当にトロイ城の跡を発見したのです。

シュリーマンは、努力を続けたからこそ、どん底から抜けだし、商売に成功するチャンスに恵まれ、ついに夢を実現させたのです。夢は描くだけでは実現しませんが、夢に向かって、こつこつ努力をすれば、必ず想像以上の素晴らしい事がおきるのです。困難に遭っても、命を大切に、自分の夢に向かって、生きていってください。(卒業式 式辞より)

保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。この六年間の数々のお子様との思い出が浮かんでは消え、感慨もひとしおであろうと拝察いたします。皆様のお子様に寄せる愛情と学校に対する期待が本校の支えとなりました。

卒業生のみなさん、羽ばたきのときです。胸を張って飛び立って下さい。みなさんの健康と限りない成長、そして幸多い人生であることを願っています。



たくさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます

- この1年間、交通指導員の皆様には、朝の登校の様子を見守って頂き本当にありがとうございました。おかげさまで、子ども達は、この1年安全な登校ができたと思います。



学校近くの五叉路の所には、栗原さんが交通指導を行ってくださり、子ども達とハイタッチで挨拶を下さっていました。

- 山下町内代表の丸山様から、アルミ缶収益金30,200円を、小学校に寄付頂きました。中学校にも同額を寄付して頂いているということで、大変有り難く思っております。遣い道については、今後検討し、日奈久の子ども達のために有効に活用して参りたいと思います。本当にありがとうございます。
- 日本教育公務員弘済会より学校の図書教育費として「スクールライブラリー 一助成金(10万円)」を頂きました。教育書及び図書館の本の購入に充てたいと思います。新年度には図書館に新刊が入る予定です。有り難く思っています。

楽しく有意義な春休みを

明日から、4月8日(日)までは春休みです。休み中の暮らしについては「春休みの暮らし」を配付しております。お子様と一緒に再度ご確認ください。

春休みは気の緩みから、事故や問題行動が起こりやすい期間です。子ども達には「4月8日(日)までは小学生。担任も今の先生。小学校のきまりを必ず守るように。」と伝えています。

①きまりを守る安全な生活 ②規則正しく健康な生活 ③学習習慣のある生活を行ってください。

楽しく有意義な春休みを、そして中学生に向けて、しっかりと地に足のついた準備を行いましょ。



日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第18号
平成31年3月25日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

進級おめでとうございます～修了式の校長講話より

みなさんは1年間、たくさんのごんぱってきました。楽しい思い出、ちょっと苦しかった思い出もあるでしょう。それらは、すべて、皆さんを成長させた「学び」です。

さて、校長先生は3学期の始めに、次の5つの目標を伝えました。

- 1 挨拶と返事はいつでも・どこでも・気持ちよく
- 2 「ありがとう」の気持ちを持った言葉づかい
- 3 話を聞いて、「なっとく!」「はてな?」を言葉で伝えよう。
- 4 自分でできることは、自分です。自分で気づき考えて行動する（特に 宿題と掃除）
- 5 はきもののかかとをそろえる

この5つの目標について、日奈久小学校を引っ張ってくれている4, 5, 6年生に、2学期と比べてどれくらい成長したと思うか、アンケートをとってみました。どの項目もよかったのですが、特に「「ありがとう」の気持ちを持った言葉づかい」が、一番ポイントがUPしていました。校長先生は、皆さんの心が優しくなっているのだなあと大変うれしく思いました。

校長先生は朝から、みんなの登校の様子を校門で見っていますが、挨拶が上手になった人がたくさんいます。「あいさつが上手になったね。」と、伝えると、にっこり笑ってくれる人が多いです。それだけでもうれしいのですが、中にはにっこり笑うだけでなく「ありがとうございます」といってくれる人がいます。やはり、4, 5年生に多いです。4, 5年生はさすがですね。そう答えてくれると、校長先生も、とてもいい気持ちになります。この「いいきもち」が「しあわせのはじまり」ということなのだなと思います。

さて、皆さんは、今日、通知表・修了証を担任の先生から、いただくと思います。この通知表、皆さんはお家に持って帰ってどうしますか。これまでに頂いた通知表・修了証はどこにありますか?担任の先生は、この1年間皆さんの成長を手助けして下さった、1番お世話になった先生です。通知表には、担任の先生が、皆さんを見守ってこられた中で気付かれた、皆さんの頑張りを一人一人言葉にして綴って下さった、皆さんの「成長の記録」です。決して捨てたりしないで、学年が上がっても、中学生になっても高校生になっても大人になっても、大事にとっておいて下さい。いつか、きっと皆さんの力や励ましになる時がきます。

さあ、皆さんはこの1年間、勉強に、運動によくがんばりました。自信を持って、次の学年に上がりましょう。

皆さんは無数の「可能性の種」をたくさん持っています。その「可能性の種」に水をまき、光を当てるのは、みなさん自分自身です。先生達も、皆さんの「可能性の種」が芽を出し、ぐんぐん伸びていくように、花を咲かせていくようにしっかりと応援します。



たくさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます

- この1年間、交通指導員の皆様には、朝の登校の様子を見守って頂き本当にありがとうございました。おかげさまで、子ども達は、この1年間安全な登校ができたと思います。



学校近くの五叉路の所には、栗原さんが交通指導を行ってくださり、子ども達とハイタッチで挨拶をして下さっていました。

- 山下町内代表の丸山様から、アルミ缶収益金30,200円を、小学校に寄付頂きました。中学校にも同額を寄付して頂いているということで、大変有り難く思っております。遣い道については、今後検討し、日奈久の子ども達のために有効に活用して参りたいと思います。本当にありがとうございます。
- 日本教育公務員弘済会より学校の図書教育費として「スクールライブラリー助成金(10万円)」を頂きました。教育書及び図書館の本の購入に充てたいと思います。新年度には図書館に新刊が入る予定です。有り難く思っています。

楽しく有意義な春休み

明日から、4月9日(火)までは春休みです。休み中のくらしについては「春休みのくらし」を配付しております。お子様と一緒に再度ご確認ください。

春休みは気の緩みから、事故や問題行動が起こりやすい期間です。子ども達には「4月9日(火)までは今の学年。担任も今の先生。担任の先生の言われることを必ず守るように。」と伝えていきます。

①きまりを守る安全な生活 ②規則正しく健康な生活 ③学習習慣のある生活を行ってください。

楽しく有意義な春休みを、そして新たな学年に向けて、しっかりと地に足のついた準備を行いましょう。

